

令和5年度の主な事業

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症や物価高騰などへの対策について国の政策と連携しつつ、「子育て世帯に選ばれる」、「災害に強い」まちづくりを推進し、第6次熊野町総合計画に基づき、「ひと まち 育む 筆の都 熊野 なんかいい ちょうどいい そう想えるまち」を目指します。

☎財務課 ☎820-5632

※令和5年度の施政方針は町ホームページでご覧になれます

子育て支援

こどもの医療費助成の拡大 6,463万円

乳幼児医療費助成制度をこども医療費助成制度に改め、通院助成対象年齢を中学校3年生まで拡大します。



出産・子育て応援事業 1,332万円

妊娠期から出産・子育てまでを一貫して身近で相談に応じ、必要な支援に繋ぐ伴走型相談支援の充実を図るとともに、出産・育児用品購入などに対する経済的支援を一体的に行います。

復旧・復興、災害対応力の強化

災害防止対策事業 1億5,010万円

近年頻発する大雨に備え、道路や河川、農業水利施設などのインフラ施設を改良することで災害対策を行います。



萩原交差点▶

水路整備事業 4,778万円

平成30年7月豪雨で被災した箇所、広島県が整備する治山堰堤の下流の水路を新設することで、土砂災害対策を行います。



平谷地区▶

デジタル化の推進

個人番号カードの普及促進 3,292万円

個人番号カードの普及促進のため、引き続きカード作成や保険証の機能追加などの支援を行います。

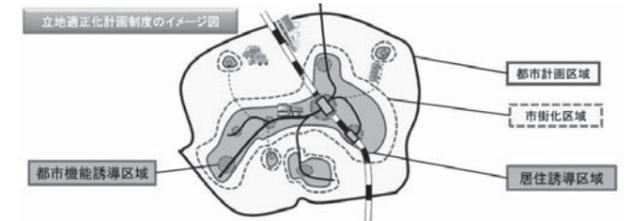
電子申請のキャッシュレス決済システムの運用開始、「書かない窓口」の運用開始

電子申請に係るキャッシュレス決済や職員の口頭確認により申請書の作成が可能なシステムの本格運用を開始します。

まちづくり

立地適正化計画の策定 900万円

少子高齢化や人口減少、多発する激甚災害による暮らしへの影響、行政の財政面におけるインフラ整備などの都市経営の悪化などの課題を解決し持続可能なまちづくりを推進するため、立地適正化計画を策定します。



交通輸送対策 5,434万円

生活福祉交通「おでかけ号」の継続運行や公共バス路線の運行の確保を図るための運行経費の一部を負担します。また、持続可能な公共交通体系の構築を目指し「熊野町地域公共交通計画」を策定します。



施設等整備

筆の里工房周辺整備事業 7,900万円

筆の里工房と一体となった「観光交流拠点」として公園整備をするため、公園の実施設計や上下水道設備工事などを行います。



町道萩原線の新設 2,700万円

県道矢野安浦線バイパスと県道瀬野呉線・阿戸分かれ交差点を結ぶアクセス道路として町道萩原線を新設するための測量や設計を行います。

中学校武道館照明LED化 900万円

製造中止となった水銀灯を使用している武道館をLED照明に改修することで、武道館の機能を適切に維持します。